

令和2年10月全員協議会

中東遠看護専門学校組合議会会議録

令和2年10月12日開会

令和2年10月12日閉会

中東遠看護専門学校組合議会

令和2年10月中東遠看護専門学校組合議会全員協議会

◎会 議 次 第

令和2年10月12日（月曜日）午後3時15分開会

1 議案の詳細説明

2 協議事項

なし

3 報告事項

(1) 令和2年度東海アクシス看護専門学校の卒業予定者の進路について

(2) 令和元年度東海アクシス看護専門学校将来構想の取組状況について

4 資料提供

(1) 令和元年度東海アクシス看護専門学校の卒業生の進路について

(2) 東海アクシス看護専門学校卒業生の管内5病院への就業状況について

(3) 令和2年度東海アクシス看護専門学校の入学生入学試験の結果について

◎出席議員（16名）

1番	寺田幹根君	2番	根津康広君
3番	松野正比呂君	4番	富田まゆみ君
5番	嶺岡慎悟君	6番	山本行男君
7番	戸塚文彦君	8番	高橋美博君
9番	森杉典子君	10番	増田雅伸君
11番	櫻井勝君	12番	渥美昌裕君
13番	横山陽仁君	14番	倉部光世君
15番	内田隆君	16番	中根信一郎君
17番	岡戸章夫君		

◎説明のため出席した者

管 理 者 袋井市長	原 田 英 之 君	副管理者 掛川市長	松 井 三 郎 君
副管理者 袋井市副市長	鈴 木 茂 君	磐田市長	渡 部 修 君
御 前 崎 市 長	柳 澤 重 夫 君	菊川市長	太 田 順 一 君
森 町 長	太 田 康 雄 君	監査委員	鈴 木 英 司 君
監査委員	大 庭 通 嘉 君	会 計 者 管 理 者	鈴 木 善 之 君
事務局長 兼総務課長	近 藤 利 男 君	校 長	山 本 洋 子 君
副 校 長	鈴 木 賀 奈 子 君	教務課長	山 崎 伸 恵 君
主 幹	松 野 容 子 君	主 幹	近 藤 由 美 君
総務課長補佐兼 庶務係長	荻 原 規 代 君	庶 務 係 主 査	杉 森 梨 絵 君

(午後 3 時15分)

○議長（戸塚文彦君） これから、全員協議会を開会いたします。

この全員協議会は、議案の詳細説明を当局から求められておりますので、よろしくお願いたします。

それでは、議案の詳細説明を求めます。

○事務局長（近藤利男君） 議長、事務局長。

○議長（戸塚文彦君） 事務局長。

○事務局長（近藤利男君） それでは、ただいま管理者からご提案申し上げました議第 5 号及び議第 6 号の 2 議案につきまして、順次、ご説明申し上げます。

それでは、議第 5 号 令和元年度中東遠看護専門学校組合会計歳入歳出決算認定について、ご説明いたします。

右上に²となっている資料、令和元年度決算書の 5 ページから 8 ページ、5 ページから 8 ページをご覧ください。

予算総額は 3 億 8,500 万円で、これに対する決算額は、歳入が 3 億 7,805 万 3,994 円、歳出が 3 億 7,488 万 8,886 円で、歳入歳出差引残額は 316 万 5,108 円となり、これを令和 2 年度に繰り越すものでございます。

続きまして、事項別明細書により主なものをご説明いたします。13 ページ、14 ページ、13 ページ、14 ページをご覧ください。

それでは、歳入の 1 款 1 項 1 目市町分担金は、各市町において取り決められた分担割合の合計 3 億円でございます。各市町の分担金につきましては、17 ページの一覧表に記載しておりますので、ご参照いただきたいと思います。

次に、2 款の看護学校使用料は授業料、教育手数料は入学検定料でございます。3 款 1 項 1 目利子及び配当金は、基金からの預金利子でございます。各基金の年度末残高につきましては、31 ページの 3 基金に記載してございますが、財政調整基金が 4,186 万 5 千円、職員退職手当基金が 1 億 1,877 万 2 千円でございます。また、33 ページには運用状況について記載してございます。

4 款 1 項 1 目繰入金は、財政調整基金からの繰入金 840 万円については、校内無線 LAN 構築のための財源として、退職手当基金からの繰入金 1,500 万円については定年退職者の退職手当に充てるためのものでございます。

5 款 1 項 1 目繰越金は、平成 30 年度の決算残金 493 万 4,872 円でございます。

6 款諸収入は92万8,815円で、コピーカードや自動販売機取扱手数料、過去問題集販売代等と預金利子でございます。

次に歳出でございますが、19ページ、20ページ、19ページ、20ページをご覧ください。

1 款 1 項 1 目議会費は、支出済額が59万7,005円で、組合議会議員の報酬等でございます。

次に、2 款 1 項 1 目一般管理費の主なものは、25節積立金で、財政調整基金積立金501円、職員退職手当基金積立金1,510万806円、奨学基金積立金600万円でございます。

次に、3 款教育費は3 億5,039万4,350円で、歳出の93.5%を占めており、1 目看護専門学校管理費は3 億2,146万3,853円で、教職員の給料や職員手当等の人件費、修繕料や光熱水費などの需用費、校舎の維持管理のための委託料などでございます。

この項目の1 番上に予備費充当がございますが、年度末に退職の申し出があり、急遽退職金を支払うため、予備費より98万7千円充当したものでございます。

流用につきましては、主なものについて説明申し上げます。

流用元が13節からのものがほとんどでございますが、この節における不用額が発生した理由といたしましては、学内無線LAN構築業務委託の入札において、入札差金が生じたものでございます。

上から3 番目の11節への流用は、受電設備更新、図書室書架転倒防止等修繕、教室の学生用イスの更新のためのものでございます。受電設備更新については、当初予算に計上しておりましたが、正門の門扉修繕や雨水桧・調整池清掃修繕など突発的な修繕をするため予算が不足したものでございます。

12節への流用は、本来無線LANにかかる通信運搬費や手数料を13節で計上していたため、流用したものでございます。

2 節給料は、派遣職員を除く教職員25人分で、1 億863万5,400円でございます。

3 節職員手当等は、退職手当を含めた各種手当で7,688万6,671円でございます。

4 節共済費は、正規教職員の共済組合負担金及び嘱託職員の社会保険料等で、3,479万11円でございます。

7 節賃金は、正規事務職員の育児休業による代替として、4月から3月の1年間、臨時職員1人を雇用したものでございます。

11節需用費の主なものは、消耗品費が156万6,887円、印刷製本費160万3,745円、光熱水費372万3,038円、修繕料662万5,262円でございます。

修繕費の詳細につきましては、42ページの3の(1)をご参照いただきたいと存じます。この中で主体となるものは、受電設備の更新修繕が250万8千円、雨水枳・調整池清掃修繕が58万5千円、実習室のカーテンレール設備修繕が50万5,980円などがございます。

19ページ、20ページにお戻りいただきまして、12節役務費は329万903円で、主なものは通信運搬料71万9,526円と入学・採用試験診断手数料52万3,600円、ホームページサーバ維持管理手数料37万3,284円でございます。

13節委託料は3,763万6,752円で、主なものは学内無線LAN構築業務委託料2,880万2千円、また、校舎施設管理手数料672万5,585円で、清掃管理、エレベーター保守点検、空調設備保守点検、消防設備点検、樹木・芝生管理、機械警備などがございます。

次に、21ページ、22ページをご覧ください。15節工事請負費は3,018万600円で、体育館天井落下防止耐震化、窓ガラスの飛散防止フィルムの貼り付け、天井照明の改修を実施いたしました。なお、この節における不用額が発生した理由としましては、入札差金が生じたものでございます。

18節備品購入費は26万6,200円で、庶務管理システム用のタイムレコーダーを1台購入いたしました。

19節負担金補助及び交付金は、主なものは派遣職員の2人分の給与等負担金1,097万9,572円でございます。

23ページ、24ページをご覧ください。2目教育振興費は2,893万497円で、外部講師等の謝礼や授業用消耗品、学生健康診断委託料、諸備品購入費などがございます。

8節報償費1,463万2,776円は、非常勤講師謝礼や実習施設謝礼などがございます。予算要求時には非常勤講師の詳細が決定していないことから、概算で積算して計上しているため、不用額が生じております。

11節需用費471万1,500円の主なものは、実習用消耗品、教育用図書購入費、図書室学術雑誌購読料などがございます。

14節使用料及び賃借料の66万1,558円は、静岡県自治体立看護学校協議会が主催する球技大会参加のためのバス借上料と、図書室でのインターネット上の医学データベース提供サービスの使用料などがございます。

18節備品購入費は228万6,054円で、図書室用図書、DVD購入費、教材備品の演習用モデル人形で、詳細については45ページ(9)をご参照ください。

19節負担金補助及び交付金の主なものは学生実習交通費助成金でございまして、学生に対して、実習施設への交通費の半額程度を助成しているものでございます。

5款予備費につきましても、先ほど申し上げましたが、年度末に退職の申し出があり、急遽退職金を支払うため、予備費より98万7千円充当いたしました。

以上が、歳入歳出に係る事項別明細でございます。

なお、決算関連の調書につきましては、決算書の28ページから37ページに、主要事業の概要につきましては、38ページから46ページに記載しておりますので、ご覧いただきたいと存じます。

以上、議第5号の説明とさせていただきます。

次に、議第6号 令和元年度中東遠看護専門学校組合奨学金貸与特別会計歳入歳出決算認定についてご説明を申し上げます。

決算書の53ページから56ページ、53ページから56ページをご覧ください。

予算総額は9,980万円で、これに対する決算額は、歳入が9,934万5,649円、歳出が9,540万95円で、歳入歳出差引残額は394万5,554円となり、これを令和2年度に繰り越すものでございます。

続きまして、事項別明細書により主なものをご説明いたします。61ページ、62ページ、61ページ、62ページをご覧ください。

最初に歳入でございますが、1款1項1目にて奨学金返還免除相当額にあたる、市町負担金3,711万円を受け入れております。各市町の負担金の詳細につきましては、63ページをご参照いただきたいと思います。

3款1項1目奨学基金借入金は、調定額、収入済額ともに4,581万円で、奨学金貸し付けのための必要な財源を、奨学基金から借り入れたものでございます。

次に、4款1項1目繰越金は、平成30年度の歳入歳出差引残額の1,147万5,418円です。

次に、5款1項1目奨学金返還金は495万円で、奨学金返還金の予算額と収入済額の差につきましては、3年未満で病院を退職及び年度途中で本校を退学した者があり、その返還金を受け入れたための差でございます。

次に歳出でございますが、65ページ、66ページ、65ページ、66ページをご覧ください。

歳出の予算総額は9,980万円で、支出済額は9,540万95円でございます。

21節の貸付金は、支出済額が5,685万円で、161人の学生に奨学金を貸与いたしました。なお詳細につきましては、78ページに記載してございますので、ご覧いただきたいと思います。

じます。

以上が、事項別明細でございます。決算関連の調書等につきましては68ページから75ページに、主要事業の概要につきましては78ページ、79ページに記載をしておりますので、ご覧いただきたいと存じます。

以上、上程いたしました各議案の詳細説明とさせていただきます。

よろしく願いいたします。

○議長（戸塚文彦君） 以上で、議案の詳細説明を終わります。

これで、全員協議会を閉会いたします。

（午後 3時30分 休憩）

（午後 3時50分 再開）

○議長（戸塚文彦君） 本会議に引き続きまして、全員協議会を開会いたします。

本日の全員協議会は、当局から報告事項2件及び資料提供3件が求められておりますので、よろしく願いいたします。

報告事項であります。

令和2年度東海アクシス看護専門学校の卒業予定者の進路について、令和元年度東海アクシス看護専門学校将来構想の取組状況について、以上の2件を一括議題といたします。

当局から報告を求めます。

○事務局長（近藤利男君） 議長。事務局長。

○議長（戸塚文彦君） 事務局長。

○事務局長（近藤利男君） それでは、全員協議会の提出案件であります、報告事項2件についてご説明をいたします。

最初に、3 報告事項(1)令和2年度東海アクシス看護専門学校の卒業予定者の進路について説明を申し上げます。

恐れ入りますが、右上に $\boxed{1}$ となっております資料の、8ページをご覧ください。

1の表は、6月7日に実施されました、管内5病院の採用試験の採用状況でございます。3年生は56人おりました、そのうち48人が試験にチャレンジし、43人が内定をいた

だきました。磐田市立総合病院及び中東遠総合医療センターの募集人員が、働き方改革などで離職率が低下していることを踏まえ、狭き門となっていることから、計5人が不合格となりました。

この結果を踏まえ、本人と担当チューター教員と進路について話し合いを行い、磐田市立総合病院を不合格となった2名については、進学が第一希望でありましたので進学一本に、中東遠総合医療センターを不合格となった3名は、菊川市立総合病院、市立御前崎総合病院の二次募集に応募いたしました。菊川市立総合病院を受験した2名は合格、市立御前崎総合病院につきましては、今月採用試験が予定されております。

なお、公立森町病院の合格をいただきました者のうち1名は、残念ながら病気欠席のため留年となったことから、採用を辞退しております。

次に、2の表につきましては、卒業予定者の進路をまとめたものでございます。

留年となった1名を除き、55名が卒業予定者で、そのうち管内5病院に44名、県内が6名、県外が1名、合計51名の採用が決定しております。

管内公立病院の二次募集に応募している者が1名、管内5病院以外の採用を目指している者が1名、進学予定が3名となっており、進路が決まっていない者が5名おります。

なお、進学予定の3名のうち、1人は病院への採用が決定しており、進学できなかった場合は就職をする予定でおりますので、採用合格者の51名にも含まれております。

採用合格者51名と未定者5名を足すと56名となり、卒業予定者の55名と1名合わないのはこのためでございます。

次に(2)令和元年度東海アクシス看護専門学校将来構想の取組状況について申し上げます。9ページ、10ページをご覧ください。

この構想は平成28年度に策定をいたしまして、計画期間は平成29年度から令和8年度の10年間でございます。

令和元年度の取組状況の、主なもののみ申し上げます。

まず重点施策1 看護教員の確保に向けた取り組みや制度の見直しでは、職員の時差勤務の運用において、家庭の都合による職員からの申し出制度の創設、学生の夏季休業期間中に学校閉庁日を設け、当番職員を除き一斉に休暇を取得するなど、勤務環境の向上を図ったところでございます。

重点施策3は、昨年度組合議会にも報告させていただいておりますが、管内5病院の看護師採用状況の変化、看護教育カリキュラム改正時期や、臨地実習施設の確保の状況

などを踏まえ、令和2年度スタートの定員数増の予定を2年延期し、令和4年度に変更しております。

重点施策4 質の高い教育の実現・学生満足度の向上への取組では、令和2年度からの電子教科書導入に向け校内にW i - F i 設備を構築、併せて教員用のパソコンもタブレットタイプ26台を更新、教室用プロジェクターを9台設置いたしました。

また、体育館の天井耐震化等工事をするとともに、椅子90脚を軽量タイプのものに更新したところでございます。

重点施策5 看護師を目指す者を惹きつけるアクシスの価値創造と地域貢献では、医療現場において基本的な看護業務を英語で運用できる能力を測定する英語試験、「T O P E C 看護英語試験」を実施いたしました。

主な取り組み内容は以上でございますが、引き続き将来構想に基づきまして、様々な取り組みを実施していく予定でございます。

説明は以上でございます。よろしくお願ひいたします。

○議長（戸塚文彦君） 当局の報告が終わりましたが、ご質疑等ありましたらお願ひいたします。

○5番（嶺岡慎悟君） 5番、嶺岡。

○議長（戸塚文彦君） 5番、嶺岡議員。

○5番（嶺岡慎悟君） 説明ありがとうございます。説明の内容と少し変わるところがあるかもしれませんが、経営として新型コロナの影響というか、今後考えられていることがありましたら教えていただけたらと思います。

○事務局長（近藤利男君） 議長。

○議長（戸塚文彦君） 事務局長。

○事務局長（近藤利男君） 嶺岡議員の質問にお答えさせていただきたいと思ひます。新型コロナの影響は、どのようなものが想定されるかどうかというご質問かと思ひます。今年度4月20日から5月22日まで緊急事態宣言が静岡県に出た関係で、その期間登校を禁止せざるを得ない期間がございました。昨年度W i - F i 設備の敷設、あと教職員のタブレット端末を配布しまして、I C T 教育を昨年度から進めてきておりました。今年度電子教科書等も導入いたしまして、本年度は新しく入った新入生、1年生だけになりますけれども、今後入る入学生につきましては、随時電子教科書を使つていただくといった形で、昨年度からそういったことを進めておりました。今年度そういった中で、コ

コロナの登校禁止期間が出た中でオンライン授業ができて、通常やらないといけないカリキュラムが予定どおりできておりました。ですので、今後コロナが再度感染拡大された場合につきましても、オンライン授業ができるかと考えておりますので、授業等への影響はほぼないかと認識しております。ただ、学内のコロナ感染防止対策といったものは、感染が拡大すればもっと強化せざるを得ない場合もあるかと思っておりますので、より良い環境になるよう進めてまいりたいと考えております。

以上説明とさせていただきます。

○議長（戸塚文彦君） よろしいですか。

○5番（嶺岡慎悟君） はい。

○議長（戸塚文彦君） ほかにございますか。

○3番（松野正比呂君） 議長。3番、松野。

○議長（戸塚文彦君） 3番、松野議員。

○3番（松野正比呂君） はい、よろしく申し上げます。説明を聞かせていただいて卒業生の進路でございますけれど、進学希望者について少しお伺いしたいです。看護学校って3年なんですね。進学希望ということに対して、どんな進路がこの皆さんには用意されているのか、あるいは用意されていなくて進路を変えられるのか、そういったことについて、少しお話しをお願いしたいと思います。

○副校長（鈴木賀奈子君） 議長。

○議長（戸塚文彦君） 鈴木副校長。

○副校長（鈴木賀奈子君） ただいま進学希望されている方に対する進学の道というところを、説明させていただきたいと思います。本校は専門学校ですから3年課程ということで3年間看護師の勉強をいたします。その後、助産師が主ですけども保健師にもなることもできます。養護教諭も過去には1人おりました。ここで進学と言っているのは、助産師が主でございます。今年度も3人受験する予定でございますが、静岡県には専門学校で3校ございます。東部の方に県立看護専門学校、そして清水に静岡市立清水看護専門学校、そして浜松にあります静岡医療科学専門学校、この3校でございます。1年間助産師の学校へ行き、国家試験を受けて助産師になるということになります。進学希望者においてはこのコースが多いです。以上でございます。

○議長（戸塚文彦君） よろしいですか。

○3番（松野正比呂君） はい。

○議長（戸塚文彦君） 4番、富田議員。

○4番（富田まゆみ君） 4番、富田まゆみです。先ほど嶺岡議員の方からコロナ禍における経営のところで、オンライン授業をされたというご答弁いただきましたけれども、その中で、いわゆる学校と家庭にいてオンライン授業されたと思いますけれども、その家庭の中でWi-Fi設備が整っていない学生等はいなかったのでしょうか。環境が整っていない学生はいなかったのかどうか教えてください。

○事務局長（近藤利男君） 議長。

○議長（戸塚文彦君） 事務局長。

○事務局長（近藤利男君） 富田議員のご質問にお答えさせていただきます。オンライン授業をやる際に、家庭のWi-Fi環境がない家庭があったかなかったかということかと思えますけれども、幸い、オンライン授業をやる前に各学生に聞き取ったところ、Wi-Fi環境が整っていなかった世帯はひとつもございませんでしたので、順調にすることができました。以上、説明とさせていただきます。

○議長（戸塚文彦君） 4番、富田議員。

○4番（富田まゆみ議員） 今年度は良かったと思うんですが、もし次年度以降、例えば入学者でそういった環境がない学生さんが出てきた場合の対応等は、お考えがありますでしょうか。

○事務局長（近藤利男君） 議長。

○議長（戸塚文彦君） 事務局長。

○事務局長（近藤利男君） 基本、そういった環境が整っていない学生さんについては、環境を整えていただくようお願いしようかと思っております。以上、答弁とさせていただきます。

○議長（戸塚文彦君） よろしいですか。ほかにございますか。

○2番（根津康広君） はい。

○議長（戸塚文彦君） 2番、根津議員。

○2番（根津康広君） 9ページの重点施策1のところで、看護教員の確保に向けた取り組みや制度見直しとありますが、重点施策の1でこのところがしっかりと確保できないと定員増にもつながっていかないと思いますが、取組③のところなんです、管内5病院と連携したとありますが、具体的にどのような形で連携されているのか。ただ試験受けてくださいということを行っているだけなのか。日頃からそういうふうな教育的な

ことをお互い密にして連携されているのか。具体的なところについて伺いたいと思います。

それと、看護教員というのは新たな資格が必要になってくると思いますが、その把握と申しますか、ちょっと私具体的に分かりませんので、看護教員と一般教員と違うところも分かりませんので、看護教員の資格の内容について伺いたいと思います。これがひとつです。

もう1点は12ページに卒業生の管内5病院への就業状況とあります。一番下の割合のところ、卒業生100%としてみた場合、うち管内5病院へのこれまでの就職者数が70.8%で、これまでの就業者、令和2年4月までが36.7%と、病院によってはばらつきがあるわけですが、この辺結婚したり、他のところへ就職したり、そこへ留めるということは強制できるものではありませんけれども、この辺の数値というものを、もう少しこの、病院の環境もあるかもしれませんけれども、その辺を高めるというか目標をもっておられるのか、これがこの辺でいっぱいのところかそこら辺の評価について伺いたいと思います。

以上です。

○事務局長（近藤利男君） 議長。事務局長。

○議長（戸塚文彦君） 事務局長。

○事務局長（近藤利男君） 根津議員のご質問にお答えいたします。大きく2つご質問があったかと思えます。

まず看護教員の確保に向けた具体的な取り組みにつきましては、現在につきましては、本校のほうで教員の応募をする時に、病院の病院誌というのが各病院で発行されておりまして、その病院誌にアクシス看護学校で教員の募集をしているという記事を載せさせていただいております。それが一番大きな連携かと思えます。

次に、看護教員になるためにはどういった資格が必要かという条件でございます。大きく分けて2つございまして、ひとつは実習指導員という職種と看護教員という職種と2つに大きく分かります。実習指導員につきましては、保健師、助産師、看護師としての経験が5年以上ある方が対象となります。実務経験が5年以上ある方が対象となります。看護教員の場合はそれに加えて、大学等で教育に関する科目を履修した方が看護教員としての職種になれるという形です。すべてがこういった教育の課程を採っている方は少ないものですから、実際に実習指導員として採用させていただきまして、その後、

厚生労働省の認定看護教員養成講習会というものが、県の方で2年に1回開催していただきますので、そちらの講習会を受講していただいて、のちに看護教員に身分を切り替えるような取り扱いをしております。

2番目に5病院への就業状況が令和2年4月現在で36.7%ということで、4割を割っている状況をどのように考えるかというご質問かと思えます。病院の定員がそんなに変わらない状況であるとしみますと、アクシスの卒業生はどんどん増えてまいりますので、こちらの就業者数の割合はどんどん減ってくるのかと思えます。ただ、早期離職がないような形をとってまいりたいとは思っておりますので、学生の指導をそういったことも含めて指導していきたいと思えます。以上、答弁とさせていただきます。

○議長（戸塚文彦君） よろしいですか。

○2番（根津康広君） はい。

○議長（戸塚文彦君） ほかにございますか。

○17番（岡戸章夫君） 議長。

○議長（戸塚文彦君） 17番、岡戸議員。

○17番（岡戸章夫君） 17番、岡戸です。10ページの重点施策5のところ、取組①のところで質問させていただきたいと思えます。看護業務を英語で運用できる能力を測定する英語試験ということで、TOPE C看護英語試験というものがあるということです。この試験の難易度というのはどういうものなのか。一般的にはTOE I Cがありますけれども、合格者に合格証書が交付されるということですがけれども、どのくらいの方がこういった試験に合格されているのか、実績等ありましたら教えてください。

○副校長（鈴木賀奈子君） 議長、副校長。

○議長（戸塚文彦君） 鈴木副校長。

○副校長（鈴木賀奈子君） TOPE Cの看護英語試験のことについてご説明申し上げます。2学年で英語の履修がございます。その時にこの試験に該当するテキストを使用しまして、先生に教えていただいております。そして全員受験したんですけれども、結果としましては、4割ほどの学生が合格いたしました。それで再受験ということで、3学年の時に1名受験しましたがけれども、残念な結果になりました。このTOPE Cの看護英語試験ですが、本年度第6回ということでまだまだできたばかりのものなんですけれども、対象者におきましては看護師、看護学生、その他医療従事者を対象としまして、日本の医療現場において基本的な看護業務を英語で運用、測定できるような英語の試験

ということで有効活用させていただいております。

以上でございます。

○17番（岡戸章夫君） はい。

○議長（戸塚文彦君） 17番、岡戸議員。

○17番（岡戸章夫君） ありがとうございます。質問させていただいたのは、緑色のダイジェスト版、将来構想のダイジェスト版の5ページのところに、今後の課題ということで「本校をどのようにブランド化していくか」ということが少し書かれておりましたので、今後のブランド化について、就職にあたっての武器とか、個人としても将来的なスキルという面で考えると、こういった試験に力を入れて、東海アクシスさんのブランド化、強味を発揮していくのも今後ひとつの手かと思ひまして、今質問させていただきました。なかなか4割ということで、実際に学ぶ生徒さんは大変かと思ひますけれども、そんなことがありまして質問させていただきましたので、そこら辺の今後の考え方を少しお話しいただければと思ひます。

○議長（戸塚文彦君） はい、鈴木副校長。

○副校長（鈴木賀奈子君） 今後の考え方ということですが、今後社会の中においてはグローバル化ということも非常に大切なことだと思います。英語の講師も外国の方でございますので、そういう意味では身近なところで学習していただいて、身につけていけられるよう指導していきたいと思っております。以上でございます。

○17番（岡戸章夫君） 了解です。

○議長（戸塚文彦君） よろしいですか。ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

ほかにないようでありますので、以上をもちまして報告に対する質疑を終わります。

なお、資料提供3件につきましては、事務局から説明・補足ありましたらお願いします。

○事務局長（近藤利男君） はい。

○議長（戸塚文彦君） 事務局長。

○事務局長（近藤利男君） それでは、資料提供3件についてご説明をいたします。

最初に、(1)令和元年度東海アクシス看護専門学校の卒業生の進路について、ご説明を申し上げます。恐れ入りますが、右上に1となっており資料の、11ページをご覧ください。

これは令和元年度の卒業生、今年の3月に卒業し4月に就職いたしました卒業生の進路でございます。一番右の太枠の部分に記載してございますが、卒業生55人の就職先は、管内5病院に48人、県内病院に4人、県外病院に3人となっております、国家試験は全員合格しており、5年連続となっております。

次に、(2)東海アクシス看護専門学校卒業生の管内5病院への就業状況について、ご説明を申し上げます。12ページをご覧ください。上の表は管内5病院の病院全体と、本校卒業の看護師数をまとめたものでございますが、一番下に管内5病院の合計がございますが、令和2年度の本校卒業生が620人勤務しており、割合として38.6%となっております。

次に(3)令和2年度東海アクシス看護専門学校の入学生入学試験の結果について、ご説明申し上げます。13ページをご覧ください。この4月に入学生の入学試験の結果でございます。出願者数、受験者数、入学者数の今年度、昨年度の状況で、管内、県内及び県外の区分でまとめたものでございます。

推薦及び社会人入試につきましては、管内6市町に住所を有している者を出願要件としているため、管内の方のみとなりますが、一般入試につきましてはそのような制限がないため、県外から受験する方もおりますが、入学者については今年度県内では浜松市が12人となっております。

出身校別では、磐田北高校が今年度12人、昨年度15人と一番多い状況でございます。

以上、簡単ではございますが、説明とさせていただきます。よろしく願いいたします。

○議長（戸塚文彦君） 以上をもちまして、全員協議会を閉会いたします。

みなさん長時間にわたりありがとうございました。

（午後 4時17分 閉会）